

(様式第8号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2024年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者 所在地 長野県長野市芋井鑑725-13

団体名 天空の里 いもい農場

代表者 職・氏名 代表 浦中 綾子

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

長野市芋井の限界集落で多世代交流の学びと賑わいのムーブメントを作る！
「天空の里 いもい農場」環境整備事業

2 助成対象事業の実施期間

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

3 助成対象事業の内容

子どもの農業体験充実につなげる農機具の購入と、アクセス向上の看板作成・設置

4 事業の成果

子ども専用のクワ・シャベルは、子どもたちの農業に対する気持ちを育むツールになった。
バス停設置の看板は、わかりやすくなったことでアクセス向上につながった。
社会会館設置の看板は、いもい農場のシンボルとして認知向上につながった。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付)

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分			金額(円)	内 訳
収 入	① 本助成金		154,498	
	② 自己資金 会費、事業収入、 寄付金など		2476	2022年度会費から充当
	③ その他 補助金等			
収入合計		156,974	(A)	
支 出	助成対象経費	子ども農業 体験充実	22500	子どもクワ5本@ 4500円
		同上	12010	Little Elephant Gショベル5本 @2,400
		同上	7998	備品置き場改造(子どもが道具を取りやすく、片付けしやすくするため)
		同上	11200	コーナンオリジナルソーホース 4台(クラフト等作業台用)
		アクセス向上	103950	池平バス停への看板設置(自家用車で来る方用) 芋井社会会館への看板設置(到着した方々を歓迎し、限界集落ににぎやかな雰囲気を届けるため)
		計	157658	(B)
	助成対象外経費			
計		0	(C)	
	支出合計	157658	(B)+(C)=(A)	

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物(チラシ・リーフレット等)がある場合には、別途送付してください。



2024/4/20 子どもクワを手にする子ども



2023/5/6 看板前でオリエンテーリング、看板前で記念写真



2023/4/21 子ども農具を参加者へ説明

活動通信

平素、天空の里 いもい農場へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。
活動の様子となりますので、ご高覧をよろしくお願いいたします。

【発行】天空の里 いもい農場 代表 浦中 綾子（古里）

【発行日】2023年5月7日 【発行号数】2023年度1号（通算88号）

【運営事務局】〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田1140-1 西沢 和宏 TEL090-9358-3286

■主催：天空の里 いもい農場 ■後援：茅井地区住民自治協議会

▽ご挨拶

日ごろ、地域の皆さまには、私たちの活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

天空の里 いもい農場は、2014年4月、茅井広瀬地区にある茅井社会会館を拠点に活動を開始し、この4月、10年目を迎えることができました。10年にわたり活動が継続できたのは、活動をお支えいただいている地域の皆さまのおかげです。引き続き、食農体験活動を通じて、地域ににぎやかな雰囲気が届けられるよう、推進してまいります。

この紙面は、活動の内容の可視化を図るために、定期的に発行いたしますので、ぜひ、ご高覧くださいますようお願いいたします。

代表 浦中 綾子

▽子どもに本格的な農業体験を届けたい！



長野県と長野県みらい基金の共同事業である「信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム」に取り組み、県内外の19人から15万円を超える寄付金をお寄せいただきました。この寄付金を活用して、子ども専用のクワやシャベルの購入、迷わずとり着けるよう、池平バス停・茅井社会会館に看板を設置しました。事業の推進で、地域の皆さまのご理解を賜り、ありがとうございました。

▽路線バスを活用した取り組みを実施します！

2022年度に引き続き、赤い羽根共同募金「地域生活支援公募配分事業配分金」を活用して、限界集落で高大生と取り組む「食農体験&子どもの居場所作り」に取り組みます。この企画は、高大生が路線バスの活用することで「地域課題を考えるきっかけとすること」「地域の足の維持につなげること」を目的としています。広瀬バス停から社会会館までの間を、高大生が行き来しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※広瀬・洞地区のみ、地域まるごとキャンパスのチラシをお届けします。

▽運営スタッフ研修を開催しました



3月18日、運営スタッフ会議を開催し、全国家の食農教育リーダー研修会・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの共有、ノロウイルスを中心とした食品衛生研修を実施しました。

▽農道清掃を行いました



（京都の参道のようにきれいになって、にこやか！）

4月2日、学校法人いづな学園グリーンヒルズ小・中学校の先生とともに、農道中道の側溝と路面清掃を行いました。農道清掃で活用する備品は、2022年度「ろうきん安心社会づくり助成金」を活用して整備しました。

▼第1回 活動報告

4月22日(土) 9:00~12:00

参加人数: 大人41人・子ども43人(合計84人)

内容: 開講式、10周年記念植樹、ジャガイモ・長ネギ・ハロウィンカボチャの植え付け、ハツカダイコン・カブ・ニンジン種まき、リンゴへのワラ敷、野草の天ぷら試食

▼開講式



浦中代表からの挨拶の後、長野市芋井支所支所長補佐で長野市きらめき隊の中澤様より「芋井の地で楽しい思い出を作してほしい」と、ご挨拶をいただきました。

▼10周年記念植樹を実施



(10周年記念植樹記念写真「植えました!」)

2023年度、天空の里 いもい農場は10年目の活動に突入しました。山崎副代表から趣旨説明の後、10年活動できたことの記念に10本のブルーベリー(3年樹)を植樹しました。

▼畑での活動



畑では野菜の植え付けを行いました。過去最高の参加人数を受け入れ、近所の農家さんから「賑やかだね」とお声をいただく中、作業を進めました。

▼第2回 活動報告

5月6日(土) 9:00~12:30

参加人数: 大人32人・子ども29人(合計61人)

内容: 野菜苗の植え付け、リンゴの花摘み、薄焼きの材料調達と配膳サポート(子どもの教室)、広瀬集落オリエンタリング、薄焼き試食

▼畑をフィールドにした活動

畑を希望した参加者をミニトマト・ピーマンチーム、落花生・ダイコンチーム、リンゴの花摘みチームの3グループに分けてそれぞれの農作業を実施しました。それぞれ、時間いっぱい、苗を植え、種をまき、リンゴの花摘みを行いました。



(ミニトマトの植え付けをする参加者ら)

▼子どもの教室・料理教室が連携した活動

「子どもたちの主体性を伸ばしたい」と願いを込めた子どもの教室では、野草を田んぼの周辺から採取、料理にするための下ごしらえを担当してもらいました。その材料を料理教室の運営スタッフが受け取り調理。



(ノビル・アサツキを収穫する子どもたち)

▼広瀬集落オリエンタリング



いもい農場の活動フィールドを知ってもらおうと、広瀬集落を舞台に実施しました。

次回は、6月中旬に発行予定です。

5/20 田植え・6/3 サツマイモ植え付け・6/17 草取り

活動報告印刷代は、2022年度「ろうきん安心社会づくり助成金」を活用しています。